

平成二十三年二月九日提出
質問第五七号

菅内閣の閣僚懇親会等に関する質問主意書

提出者
柿澤未途

菅内閣の閣僚懇親会等に関する質問主意書

菅内閣は内閣改造後の一月十六日に閣僚勉強会を開いた。報道によると午後五時二分より六時二十九分までの一時間二十七分間だったとされる。

その直後、菅内閣の全閣僚は改造前の閣僚や民主党幹部らとともに、ホテルニューオータニのすき焼き店「岡半」にて懇親会を開いている。

一 この懇親会の出席者は誰か。

二 この会合に関して支出された公費は総額でいくらか。公費支出があったとすれば、どのような名目でどこから出されたものか。

三 報道によると、前日に誕生日を迎えた仙谷前官房長官ら一月生まれの出席者五人のためにバースデーケーキを用意し、「ハッピーバースデー」を出席者全員で歌ってお祝いしたとされている。事実か。

四 こうした懇親会の内容については、福山官房副長官が記者ブリーフィングにおいて明かしたというが、事実か。

五 閣僚らによる懇親会が開催されたすき焼き店「岡半」は、客単価二〜三万円の高級店とされている。菅

内閣は、平成二十三年度政府予算の編成にあたり、菅総理、野田財務大臣をはじめ、「財政規律の維持に腐心した」との趣旨の発言を繰り返している。さらに「税と社会保障の一体改革」として消費税率引き上げを含めた税制改正の検討を始める意向を示している。増税の検討も不可避であるとの見解を国民に示している中で、このような高級店で懇親会を持つ事が国民目線から見て不適切であると考えられる事はないのか。

六 菅総理は直前の一月十二日にも同じ「岡半」において亀井国民新党代表、福島社民党党首との夕食会の席を持っている。この会合に関して支出された公費は総額でいくらか。公費支出があつたとすれば、どのような名目でどこから出されたものか。

七 この時期に「岡半」を頻繁に利用した意図は何か。

八 新聞掲載の「総理動静」記事によると、菅総理はこのほかにも民主党議員や官邸スタッフ、知人らとの夕食会の場所として、客単価二万円にもなる高級店を頻繁に利用している。これは「常に庶民の側に立つて、政治改革に取り組んできました」（昨年参議院議員選挙投票日の民主党の新聞広告）との菅総理自身の言葉に反しているのではないか。

右質問する。